

平成28年度 高等学校自己評価表

学校法人 小松原学園 叡明高等学校

目指す学校像 (教育目標)		1 密度の濃い授業展開により、個々の生徒の学力を伸ばす。 2 個に応じたきめ細かな学習指導により、基礎学力の定着を図る。 3 生徒一人ひとりの進路希望の実現を目指す。	4 規範意識や道徳心を培い、基本的生活習慣を身に付けさせる。 5 生徒の自主的活動を育成・支援し、体育・文化活動の活性化を図る。 6 家庭・地域と連携を図り、地域社会の支持を得る。	達成 状況	次年度への課題・改善策	学校関係者評価委員会の 要望・意見	
重点項目		重点目標		評価指標			
教務	1 生徒個々の学力に応じた指導	・習熟度別授業を工夫・改善し、諸問題の検討作業を学期ごとに行う。 ・個別指導・課外指導を通して、生徒に学習の習慣性と意欲を持たせる。	・学習意欲の向上した生徒は増加しているか。 ・成績不振者の解消に向けて、補習・個別指導などの取り組みは行われているか。 ・授業代行が極力行われない状況になっているか。 ・授業中の巡回指導など、授業規律の指導体制は整っているか。 ・学習に集中できる環境が確立できているか。 ・海外修学旅行の事前指導が適切に行われたか。 ・災害時における生徒の安全は確保できているか。	B	・土曜講習・夏期講習への参加生徒は増えている。放課後講習なども継続して行う。次年度進学合宿見直しを検討する。 ・授業に関しては規律の確立から、学習効果をより高める指導に移していく必要がある。 ・海外・国内への修学旅行は、事前指導が十分に行われ問題なく実施された。行程に関して一部検討事項あり。 ・緊急時避難の安全確保に関しては環境的に大幅に改善したが、災害時の備品備蓄計画は行政との連絡を取りながら推進する必要がある。	教務 ・土曜講習増加率 +23% ・進学合宿見直しとは、 →効率性を考慮し合宿は中止。 進路指導 ・土曜講習の実施状況は、 →参加人数の増加に伴い、講習実施のシステムの変更を検討。カリキュラムの早期完了は、コースごとの生徒の理解状況等を考慮し決定。 ・AO・推薦入試に向け小論文指導の徹底をお願いしたい。 →進学コースで学校設定科目として授業を展開。また、外部講師による小論文・面接対策講座を開講している。今後増加するAO・推薦入試に対応できる指導体制を整える。 ・特別強化指定クラブの実績はどのようにになっているか。 →バドミントン部 高等学校バドミントン大会 男子団体3位 女子団体16位(初出場) 全国私立高等学校選抜バドミントン大会 男子団体13位 (21回連続出場)、 女子団体4位(初出校) →音楽部 第70回関東合唱コンクール 銀賞(2年連続出場) 第10回声楽アンサンブルコンテスト銅賞(3年連続出場) →平成28年日本テレビ24時間テレビ番組内 第1回全国高校合唱選手権大会 優勝 →野球部 越谷市高校野球大会 優勝 →自転車競技部 全国高等学校総合体育大会 ポイントレース3位 JOC ジュニアオリンピック 自転車競技会 ポイントレース2位 第71回国民体育大会ポイントレース出場	
	2 授業秩序の確立徹底	・全教員が共通認識を持ち、組織的な巡回指導と連動して教科指導を通じた生徒指導に努める。					
	3 学校行事の検討・改善	・教育的な観点から、行事を検討し、より適切な年間日程を作成する。 ・海外修学旅行の実施により、グローバル化した現代において異文化理解を育成する。国内修学旅行では地域の特性を理解させる。					
	4 防災再計画の作成と生徒の安全確保	・防災マニュアルを確立し、緊急時の生徒の安全確保、災害時の防災拠点化への対応を進める。					
進路指導	5 より効果的な進路指導	・生徒の志を育て、最後まで諦めさせない粘り強い指導を実践するため、進路指導の各種の取組を保護者との緊密な連携の下、一層丁寧に行っていく。 ・3年間を見通した計画的な進路指導計画を作成する。 ・適切な情報を発信し、生徒・保護者の進路意識を高める。 ・計画的な進路指導を実践し、前年度より高いレベルの進路実現を目指す。	・進学実績が向上しているか。 ・生徒の進路希望を把握し、模試のデータを活用した適切な進路指導を行っているか。 ・希望進路の実現率がより高まっているか。	B	・進路実績は確実に向上している。進路行事の企画・運営の見直し、進路指導室の整備活用、進路指導研修の共有により、各コースの目標を達成できるよう指導する。		
教科指導	6 教科研究の推進、授業力の向上	・教科担当者同士の研修・連携を推進して、学習指導方法を工夫・改善し、わかりやすい授業を通して生徒に学ぶ喜びを体得させるべく、授業力を向上する。 ・教員相互の授業見学及び生徒による授業評価の実施と効果的活用をする。	・日常的に小テストを実施し基礎学力の向上に結び付けることができたか。 ・シラバスの作成、授業内容の検討などによる教科の改善が、基礎学力診断や模擬試験など外部の評価向上に結び付いているか。 ・夏期講習や各種講習への参加率が高まり、模試などの結果向上に結びついているか。 ・検定試験などの受験者、合格者は増加しているか。	B	・進学系コースでは小テストの実施と、放課後の再テストが徹底できた。今後も継続的な取り組みを行わせる。 ・シラバスに関しては、教科、授業内容の検討と到達点の確認を行う段階まで改善できた。次年度は生徒が学習目標を持てる段階まで充実させたい。 ・土曜講習・配信授業等は内容を精査し、より効果的な進学指導ができた。PC環境の整備を行い、安定した配信授業を行う。進学合宿実施は効率性を考慮し、中止とすることを検討する。 ・英語検定を全生徒受験とし、成果が得られた。他の資格・検定試験への受験も積極的に推進していく。		
	7 学習指導方法の工夫・改善						
	8 進学指導の研究	・進路実績に結び付く進学指導の在り方を研究し、各教科に発信するとともに、カリキュラムに反映させる。					
	9 進学講習などの企画運営 課外授業の体系化	・授業と大学進学対策講座への体系化を図り生徒の学力向上を目指す。 ・勉強合宿・長期休暇講習・放課後講習を系統立てて組織する。					
10 各種検定試験の改善	・検定試験の受験者を増やし、指導を行い、上位級の合格者を増加させる。英語検定試験の全校実施を行う。						
生徒指導	11 基本的生活習慣の確立	・定期的な検査を実施し、服装・頭髪の指導を図るとともに、規範意識の徹底。 ・報告・連絡・相談の徹底により、長期欠席・不登校生徒への対応を学校全体で取り組む。	・継続的で組織的な整容指導が行われているか。 ・遅刻・欠席は減少しているか。 ・指導件数は減少しているか。 ・退学者は減少しているか。	B	・昨年度の指導強化・徹底にともない学校内における生徒の生活面は改善された点が多い。遅刻・欠席数などの家庭生活を含めた生活の改善は意識の高い生徒の入学もあり格段に改善されている。この意識を継続できるよう指導する。 ・文化祭や体育祭は叡明高校の行事として生徒の意識も高く積極的な参加が見られた。次年度も生徒が積極的参加できるよう計画を立案し、全学年共学となった完成年度における文化祭の成功を目指す。 ・クラブ活動に関しては、加入率が増加し、一層の飛躍が期待されるが、活動場所の確保が課題となっている。生徒の活動を担保できるよう工夫をしたい。		
	12 クラブ活動 諸行事の活性化	・文化祭、体育祭などの諸行事や、クラブ活動の活性化により、生徒の自主性・協調性・責任感及び愛校心を育成する。 ・委員会活動を組織して、生徒の自主性・協調性・責任感及び愛校心を育成する。 ・指定した特別指定強化クラブの充実を図る。	・行事をはじめ、学校生活の多くの場面で生徒が自主的に活躍しているか。 ・生徒のクラブ加入率は向上したか。 ・特別指定強化クラブは具体的な実績を上げることができたか。				
	13 公共心の育成・校内校外美化の徹底。	・交通ルールを遵守させ、通学路や駅でのマナーの向上を図る。 ・校内美化活動を組織的に実施する。 ・地域美化活動を実践する。	・通学路指導を行い、地域と連携を取った生徒指導ができているか。 ・教室や担当箇所の清掃は毎日行われているか。				
広報	14 広報活動の充実	・積極的な募集・広報活動により、募集定員の充足を図る。 ・ホームページの充実。	・学則定員の充足 ・学校説明会、体験入学、個別相談会への参加者の増加 ・入学志願者の増加 ・ホームページの迅速な更新。	A	・今年度、学則定員の充足に関しては予想を超える入学者であった。次年度以降も安定した在籍数を確保する。 ・当面の課題としてはホームページの刷新を計画し、次年度に向け準備を行った。 ・広報活動の効率化、質の向上を図るとともに新校のイメージ向上と定着化を図る必要がある。		

A. 大変良くてできた B. 良くてできた C. 普通 D. やや不十分 E. 不十分